

シンポジウム | 特別講演

教育問題シンポジウム

老年歯科医学の卒前教育の実態はどうなっている？

座長: 福島 正義(福島県昭和村国民健康保険診療所／新潟大学歯学部)

Sat. Jun 23, 2018 9:30 AM - 10:40 AM 第2会場 (1F 小ホール)

【略歴】

1978年 新潟大学歯学部卒業
1982年 新潟大学大学院歯学研究科修了
1982年 新潟大学助手・歯学部附属病院 (第1保存科)
1986年 新潟大学講師・歯学部附属病院 (第1保存科)
2001年 新潟大学助教授・歯学部附属病院 (総合診療部)
2004年 新潟大学教授・医歯学系 (歯学部口腔生命福祉学科)
2018年 福島県昭和村国民健康保険診療所歯科長
日本老年歯科医学会終身認定医・終身指導医・理事
日本歯科保存学会専門医・指導医・理事
日本接着歯学会終身認定医・前会長
日本歯科審美学会認定医・常任理事
日本歯科理工学会DMSA

【抄録】

平成29年版高齢社会白書によると、高齢化率は27.3%に上っている。人類史上かつてない超高齢社会の到来に伴い、歯学教育における老年歯科医学教育の充実が急務である。教育問題検討委員会では、2015年に老年歯科医学教育基準を公表した。しかし、わが国の歯科大学・大学歯学部および歯科衛生士養成校における老年歯科医学教育に関する講義・実習の実施状況や教育基準の内容がどの程度教授されているかは不明であった。そこで、2017年に歯学生および歯科衛生士学生に対する老年歯科医学教育の実態を明らかにするためにWebアンケート調査を実施した。本シンポジウムでは学会誌に公表された今回の調査結果を解説する。さらに、2017年に歯学教育モデル・コア・カリキュラム (平成28年度改訂版) と歯科医師国家試験出題基準 (平成30年版) が相次いで公表されたことにより本学会の教育基準との整合性を確認し、これらの分析を総括して教育機関における教育体制のあり方を考察する。

[S7-2]歯科大学・大学歯学部における老年歯科医学教育基準 (2015年) の実施状況2017

○大渡 凡人¹ (1. 九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター)

【略歴】

1983年 九州歯科大学卒業
1987年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科歯科麻酔学修了
1987年 新潟大学歯学部第1口腔外科学講座助手
1989年 東京医科歯科大学歯学部歯科麻酔学講座助手
2000年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔老化制御学講師
2006年 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科助教授
2007年 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科准教授
2016年 公立大学法人九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター教授
歯学博士
日本歯科麻酔学会代議員
日本老年歯科医学会代議員

日本障害者歯科学会代議員
日本口腔病学会評議員
日本歯科麻酔学会認定歯科麻酔専門医・認定医
日本老年歯科医学会認定医・指導医
日本障害者歯科学会認定医
日本医療安全学会代議員

世界で唯一の超高齢社会であり、今後もさらなる高齢化に向かうわが国で、変化し続ける歯科医療ニーズに適応できる歯科医師を育成する目的で、日本老年歯科医学会は2015年に教育基準を作成した。教育問題検討委員会では、2016年12月～2017年4月に全国29歯科大学・大学歯学部アンケート調査を行い、その実施状況について検討した。

回収率は100%であった。回答は各項目を「実施している」、「実施していない」の2択とした。名称に「高齢者」あるいは「老年」を含む分野・外来が15大学(52%)あった。全項目の実施率は平均で82.0(SD:21.8)%であったが、大学により22.4%～100%と大きな差が認められた。総論の実施率は78.5(SD:24.5)%、各論のそれは84.7(SD:21.7)%であった。

シンポジウムでは結果に若干の考察を加えて報告する。